

設 計 書

道路メンテナンス事業	課 長		課 長 補 佐		課 長 補 佐		係 長		審 査 者		設 計 者	
年 月 日	令和 7 年 月 日						工 事 概 要	業務委託 1橋 設計業務 1 式				
工 事 番 号	第 号											
河 川 名 路 線 名	市道永原線 永原橋											
施 行 位 置	阿久根市 鶴川内 地内											
工 事 名	令和7年度 道路メンテナンス事業 永原橋修繕詳細設計業務委託											
工 期	140日間	施 行 方 法	直 営 ・ 請 負									
支 出 科 目	年 度 7	会 計		款		項	目		節			
	区 分		金 額				摘 要					
	設 計 額		円									
其 の 他	本橋梁は1971年に架設され、供用年数は54年になる。老朽化に伴い、橋台の洗堀と防護柵の腐食が進み著しく危険な状況下にある。そこで、橋梁定期点検及び橋梁長寿命化修繕計画に基づき、本橋梁の機能回復を図るべく修繕詳細設計業務を実施するものである。											

費 用	金 額	備 考
事 業 費	円	
工 事 費		
本 工 事 費		
附 帯 工 事 費		
測 量 及 び 試 験 費	円	工事価格 円 消費税 相当額 円
用地費 及び 補償費		
換 地 諸 費 又 は 権 利 交 換 諸 費		
事 務 費		
事 務 雑 費		
工 事 雑 費		

工 事 設 計 書			
設計書総括情報			
事 務 所 名	阿久根市		
設 計 書 名	実施設計書		
事 業 名	道路メンテナンス事業		
積算総括情報			
諸 経 費 体 系	8 設計（新体系）		
適用単価区分	1 実施単価		
単価適用地区	31 北薩③		
単 価 適 用 日	0 令和 7 年 4 月 1 日		
積算条件／諸経費情報		【 当 世 代 】	【 前 世 代 】
発注区分 消費税税率 業務区分 設計区分 旅費交通費区分		4 1 一般・法人 0 4 消費税税率：1 0 % 0 1 設計業務・積算技術業務等 0 1 概略・予備・詳細 0 1 率(設計)宿泊等無し	

設 計 業 務 費

頁0-0003

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
設計委託費							X1000
橋梁設計	レベル 1						Y7Y000000
				式			
現況調査	レベル 2						Y7Y010000
				式			
	計画準備 設計計画，現地踏査，調査計画						V0001 0
		1		式			施工内訳0-0001号表
	資料収集・整理						V0002 0
		1		式			施工内訳0-0002号表
	形状寸法測定 形状寸法，一般図・展開図作成						V0003 0
		1		式			施工内訳0-0003号表
	外観変状測定 外観変状調査，損傷図作成・写真整理						V0004 0
		1		式			施工内訳0-0004号表
補修設計	レベル 2						Y7Y010000
				式			
	健全度評価						V0005 0
		1		式			施工内訳0-0005号表

設 計 業 務 費

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
補修工法検討及び設計						V0006 0
	1		式			施工内訳0-0006号表
照査						V0007 0
	1		式			施工内訳0-0007号表
報告書作成						V0008 0
	1		式			施工内訳0-0008号表
打合せ レベル 1						Y88000000
			式			
打合せ（設計業務） 中間打合せ3回						SJ137 0
	1		業務			施工内訳0-0009号表
直接人件費						
旅費交通費						Z0001
			式			
電子成果品作成費						Z0002
			式			
その他の直接経費						Z0005
			式			

設 計 業 務 費

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄筋探査					F0001 0
	2	箇所			
コア採取・復旧					F0002 0
	2	箇所			
舗装コア採取・復旧					F0003 0
	1	箇所			
鉄筋腐食状況調査 はつり・復旧含む					F0004 0
	2	箇所			
圧縮強度試験（コア法）					F0005 0
	2	箇所			
圧縮強度試験（反発硬度法）					F0006 0
	1	箇所			
中性化試験					F0007 0
	2	箇所			
塩分含有量試験（コア）					F0008 0
	8	スライス			
データ整理・考察					F0009 0
	1	橋			

設 計 業 務 費

頁0-0006

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接経費							
直接原価							
**その他原価（間接原価							
業務原価				式			
一般管理費等							
				式			
設計業務価格							
消費税相当額							
				式			
設計業務委託費							

計画準備
設計計画，現地踏査，調査計画

V0001

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0001号表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 設計	1	人			R6200
技師（A） 設計	2	人			R6300
技師（B） 設計	1.5	人			R6400
技師（C） 設計	0.5	人			R6500
*** 単位当り計 ***	1	式			

資料収集・整理

V0002

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0002号表

頁0-0008

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（B） 設計	1	人			R6400
技師（C） 設計	1.5	人			R6500
*** 単位当り計 ***	1	式			

形状寸法測定
形状寸法，一般図・展開図作成

V0003

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0003号表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（B） 設計	0.5	人			R6400
技師（C） 設計	1	人			R6500
技術員 設計	1.5	人			R6600
*** 単位当り計 ***	1	式			

外観変状測定
外観変状調査，損傷図作成・写真整理

V0004

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0004号表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師（A） 設計	0.5	人			R6300
技師（B） 設計	2	人			R6400
技師（C） 設計	4	人			R6500
技術員 設計	4.5	人			R6600
*** 単位当り計 ***	1	式			

健全度評価

V0005

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0005号表

頁0-0011

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 設計	0.5	人			R6200
技師（A） 設計	0.5	人			R6300
技師（B） 設計	0.5	人			R6400
*** 単位当り計 ***	1	式			

補修工法検討及び設計

V0006

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0006号表

頁0-0012

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 設計	1	人			R6200
技師（A） 設計	1	人			R6300
技師（B） 設計	2.5	人			R6400
技師（C） 設計	7.5	人			R6500
技術員 設計	7	人			R6600
*** 単位当り計 ***	1	式			

照査

V0007

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0007号表

頁0-0013

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 設計	1	人			R6200
技師（A） 設計	1.5	人			R6300
*** 単位当り計 ***	1	式			

報告書作成

V0008

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0008号表

頁0-0014

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師 設計	0.5	人			R6200
技師（A） 設計	1.5	人			R6300
技師（B） 設計	1.5	人			R6400
技師（C） 設計	2	人			R6500
*** 単位当り計 ***	1	式			

打合せ（設計業務）
中間打合せ3回

SJ137

施 工 内 訳 表

施工内訳0-0009号表

頁0-0015

1 業務 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
主任技師	2.50	人			RA622
技師（A）	2.50	人			RA627
技師（B）	2.50	人			RA632
*** 単位当り計 ***	1	業務			
A=1 打合せ D=1 3-2-1			B=3 中間打合せ回数（回）		

入力データ一覧表

頁0-0016

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 条 件 名 称
X1000	**設計委託費**			
Y7Y000000	橋梁設計 レベル1	式		
Y7Y010000	現況調査 レベル2	式		
V0001	計画準備 設計計画, 現地踏査, 調査計画	1 式		
V0002	資料収集・整理	1 式		
V0003	形状寸法測定 形状寸法, 一般図・展開図作成	1 式		
V0004	外観変状測定 外観変状調査, 損傷図作成・写真整理	1 式		
Y7Y010000	補修設計 レベル2	式		
V0005	健全度評価	1 式		
V0006	補修工法検討及び設計	1 式		
V0007	照査	1 式		
V0008	報告書作成	1 式		
Y88000000	打合せ レベル1	式		
SJ137	打合せ(設計業務) 中間打合せ3回	1 業務		A=1, B=3, D=1 A=打合せ, B=中間打合せ回数(回), D=3-2-1
G0000	**直接人件費**			
Z0001	**旅費交通費**	式		
Z0002	**電子成果品作成費**	式		
Z0005	**その他の直接経費**	式		

入力データ一覧表

頁0-0017

コード	名 称 ・ 規 格 な ど	数 量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 称 件 名 称
F0001	鉄筋探査	2 箇所		
F0002	コア採取・復旧	2 箇所		
F0003	舗装コア採取・復旧	1 箇所		
F0004	鉄筋腐食状況調査 はつり・復旧含む	2 箇所		
F0005	圧縮強度試験（コア法）	2 箇所		
F0006	圧縮強度試験（反発硬度法）	1 箇所		
F0007	中性化試験	2 箇所		
F0008	塩分含有量試験（コア）	8 スライス		
F0009	データ整理・考察	1 橋		
G1000	＊＊直接経費＊＊			
G2000	＊＊直接原価＊＊			
Z0020	＊＊その他原価（間接原価）＊＊			
G4000	＊＊業務原価＊＊	式		
Z0030	＊＊一般管理費等＊＊			
G4800	＊＊設計業務価格＊＊	式		
Z0038	＊＊消費税相当額＊＊			
G5000	＊＊設計業務委託費＊＊	式		

登録単価一覧表

頁0-0018

コード	名称・規格1・規格2	単位	単 価 (0. 4. 8)	単 価 (1. 5. 9)	単 価 (2. 6)	単 価 (3. 7)	特殊集計 集計区分
F0001	鉄筋探査	箇所	7,050				
F0002	コア採取・復旧	箇所	23,500				
F0003	舗装コア採取・復旧	箇所	11,800				
F0004	鉄筋腐食状況調査 はつり・復旧含む	箇所	35,300				
F0005	圧縮強度試験（コア法）	箇所	12,000				
F0006	圧縮強度試験（反発硬度法）	箇所	5,900				
F0007	中性化試験	箇所	7,050				
F0008	塩分含有量試験（コア）	スライス	25,000				
F0009	データ整理・考察	橋	83,100				

機 労 材 集 計 表

頁0-0019

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 位	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	R6200	387		4.0000	人	主任技師	設計業務基準日額
2	R6300	387		7.0000	人	技師（A）	設計業務基準日額
3	R6400	387		9.5000	人	技師（B）	設計業務基準日額
4	R6500	387		16.5000	人	技師（C）	設計業務基準日額
5	R6600	387		13.0000	人	技術員	設計業務基準日額
6	RA622	387		2.5000	人	主任技師	設計業務基準日額
7	RA627	387		2.5000	人	技師（A）	設計業務基準日額
8	RA632	387		2.5000	人	技師（B）	設計業務基準日額

令和7年度 道路メンテナンス事業 永原橋修繕詳細設計業務委託

業務内容	線名	市道永原線
路橋	梁名	永原橋 (PC床版橋)
橋	長	23.4m
総幅員	員	4.8m
径間数	数	2.0

〔設計業務〕

現況調査

- 1 計画準備 1式
- (1) 設計計画
- (2) 現地調査
- (3) 調査計画
- 2 資料収集 1式
- (1) 資料収集・整理
- 3 形状寸法測定 1式
- (1) 形状寸法
- (2) 一般図、展開図作成
- 4 外観変状調査 1式
- (1) 外観変状調査
- (2) 損傷図作成、写真整理

補修設計 1式

- 1 健全度評価
- 2 補修工法検討及び設計
- (1) 補修工法比較
- (2) 図面作成
- (3) 数量算出
- (4) 概算工事費の算出
- 3 照査
- 4 報告書作成

設計協議 1式

当初
中間3回
成果品納品時

7.品質調査 1式

コンクリート品質調査試験	数量	試験位置	
		上部工	下部工
1) 鉄筋探査	2箇所	1箇所	1箇所(橋台1箇所)
2) コア採取・復旧	2箇所	1箇所	1箇所(橋台1箇所)
3) 舗装コア採取・復旧	1箇所	1箇所	—
4) 鉄筋腐食状況調査(はつり・復旧)	2箇所	1箇所	1箇所(橋台1箇所)
5) 圧縮強度試験(コア法)	2箇所	1箇所	1箇所(橋台1箇所)
6) 圧縮強度試験(反発硬度法)	1箇所	—	1箇所(橋台 コア採取無部)
7) 中性化試験	2箇所	1箇所	1箇所(橋台1箇所)
8) 塩分含有量試験(コア)	8スライス	3スライス/1箇所	5スライス/1箇所(橋台1箇所)
9) データ整理・考察	1橋		

※ 試験位置については、現場確認後監督職員と協議し決定すること。

採用歩掛・単価一覧

令和7年度 道路メンテナンス事業 永原橋修繕詳細設計業務委託

1橋当たり

項目	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備考
現況調査							
計画準備（設計計画，現地踏査，調査計画）		1.00	2.00	1.50	0.50		業務計画書作成
資料収集・整理				1.00	1.50		
形状寸法測定（形状寸法，一般図・展開図作成）				0.50	1.00	1.50	
外観変状測定（外観変状調査，損傷図作成・写真整理）			0.50	2.00	4.00	4.50	
補修設計							
健全度評価		0.50	0.50	0.50			
補修工法検討及び設計		1.00	1.00	2.50	7.50	7.00	
1) 補修工法比較		1.00	1.00				
2) 図面作成				1.00	4.00	5.00	
3) 数量算出					1.50	2.00	
4) 概算工事費の算出				1.50	2.00		
照査		1.00	1.50				
報告書作成		0.50	1.50	1.50	2.00		

品質調査試験		単価	単位	数量
1	鉄筋探査	7,050	箇所	2
2	コア採取・復旧	23,500	箇所	2
3	舗装コア採取・復旧	11,800	箇所	1
4	鉄筋腐食状況（はつり・復旧含む）	35,300	箇所	2
5	圧縮強度試験（コア法）	12,000	箇所	2
6	圧縮強度試験（反発硬度法）	5,900	箇所	1
7	中性化試験	7,050	箇所	2
8	塩分含有試験（コア）	25,000	スライス	8
9	塩分含有試験（粉末）粉末採取・復旧込	—	試料	0
10	データ整理・考察	83,100	橋	1
11	膜厚試験	—	箇所	0
12	塗装試料採取・復旧（運搬費，機材経費含む）	—	箇所	0
13	含有量試験（PCB）	—	検体	0
14	含有量試験（鉛）	—	検体	0
15	含有量試験（六価クロム）	—	検体	0
16	溶出試験（PCB）	—	検体	0
17	溶出試験（アルキル水銀R－Hg）	—	検体	0
18	溶出試験（総水銀）	—	検体	0
19	溶出試験（カドミウム）	—	検体	0
20	溶出試験（鉛）	—	検体	0
21	溶出試験（六価クロム）	—	検体	0
22	溶出試験（砒素）	—	検体	0
23	溶出試験（セレン又はその他化合物）	—	検体	0
仮設費等				
	橋梁点検車	—	日	0
	交通誘導員B	—	人	0

特 記 仕 様 書

第 1 章 総 則

第 1 条（適用範囲）

本特記仕様書は、阿久根市（以下「甲」という。）が発注する令和 7 年度道路メンテナンス事業 永原橋 修繕詳細設計業務委託に適用する。

本業務の実施にあたっては、契約書及び図面によるほか、「阿久根市公共測量作業規程」及び「設計業務委託共通仕様書」並びに本特記仕様書、その他諸法を遵守しなければならない。

第 2 条（業務目的）

本業務は、市道永原線 永原橋について、予防的な修繕・補修により橋梁本来の機能を回復することを目的とする。橋梁詳細点検報告書等を基に品質調査（別紙業務内容参照）を行い、補修工事に必要な図面等を作成し、数量を算出するものである。

第 3 条（業務内容）

永原橋修繕詳細設計の業務内容は、下記のとおりとする。

（1）現況調査

上部工、下部工の劣化状況や原因の把握を行うため、現地踏査等を行うもので橋梁の劣化程度、その他調査を実施するために必要な現場概況を確認する。

（2）資料収集

特記仕様書に記載されている業務の目的及び内容、発注者より貸与された資料、現況調査結果をもとに業務計画書を作成。現況形状を図面に復元し、補修検討・補修詳細設計及び維持管理の基礎資料に供する。

- ・ 既往資料が無い場合は、現況の主要寸法を測定する。
- ・ 既往資料がある場合でも、資料との整合を確認するため、現況の主要寸法を測定する。

（3）外観変状調査

橋梁全体に対して目視、クラックスケール等による外観の変状調査を行い、劣化・損傷の位置・規模を調査し、損傷図を作成する。

変状調査：近接目視を基本とし、ひび割れ（チョーキング）、遊離石灰等の析出状況、漏水、錆汁、鋼材状況（概略目視による亀裂の有無、腐食状況）を調査する。また、同時に打診ハンマーによる点検を実施し、コンクリートに浮きが生じていないか確認する。

近接目視が困難な場合は、別途適切な方法により調査を行う。

(4) 補修設計

1) 健全度評価

調査結果をもとに、劣化の原因を推定し構造物の健全度を評価する。

2) 補修工法比較

劣化原因、健全度から補修の要否を判定し、補修が必要な場合は適した工法により構造的・施工性・経済性等の比較検討を実施し、新技術を活用するなど最適な補修工法を選定する。

3) 図面作成・数量算出

補修を必要とする部位について詳細設計を行い、施工に必要な図面及び数量計算書を作成する。ただし、劣化が著しく、耐荷力向上の必要性が考えられる場合や、支承取替するなど構造計算が必要な場合は別途計上する。

① 上下部工…橋梁全体(伸縮継手・高欄取替除く)の補修詳細設計。

② 伸縮継手…伸縮継手の補修詳細設計。

③ 高欄取替…高欄取替を行う場合の補修詳細設計(高欄基部の構造検討含む)。

4) 概算工事費の算出

詳細設計により得られた数量をもとに概算工事費を算出する。

5) 照査

照査技術者は、1) から 5) の事項について照査する。

6) 報告書作成

劣化診断の結果、補修設計の経緯と工法の内容について整理するとともに、2) から 6) の内容について報告書を作成する。

(5) 品質調査

1) 鉄筋探査

鉄筋切断を防ぐ為、鉄筋位置の確認調査を実施する。

2) コア採取・復旧

鉄筋探査の結果をもとに、各種試験の供試体として所定量のコンクリートコア・舗装コアを採取する。採取後は、ポリマーセメントモルタル等を用いて復旧を行う。

3) 鉄筋腐食状況調査

鉄筋探査を実施し、鉄筋の位置を確認した上で詳細なはつり調査位置を決定する。調査は既設鉄筋のかぶり、径、ピッチおよび腐食状況の確認を行い、補修設計の資料とする。確認後は、ポリマーセメントモルタル等を用いて復旧を行う。

4) 圧縮強度試験(コア法)

採取コアを用いて、コンクリートの圧縮強度を確認する。

5) 圧縮強度試験（反発硬度法）

シュミットハンマーを用いて、各部材の圧縮強度を確認する。

6) 中性化試験

採取コアを用いてフェノールフタレイン法により、コンクリートの中性化深さを測定する。

7) 塩分含有量試験

採取コアを切断して、深さ方向におけるコンクリート中の塩分含有量を確認する（20mmにつき1スライスを基本とする）。

8) データ整理・考察

試験結果より、補修設計の経緯と工法の内容について整理するとともに、1) から7) の内容について報告書を作成する。

第4条（作業計画）

受託者（以下「乙」という。）は、予め作業計画を立て監督員の承認を得るものとする。

また、業務の実施にあたっては、十分に監督員と打ち合わせを行い、手戻りを生じないように努めなければならない。

第5条（占用物件）

乙は、橋梁に占用している物件はないか関係機関に確認し報告書に記載すること。

第6条（受託者の義務）

乙は、本業務の実施にあたり、計画検討の目的主旨等を十分に理解した上で、最高の技術知識を発揮して、本業務を遂行しなければならない。

乙は、計画及び図面等の作成に際し、必要な図書・資料等を監督員の指示に従って借り受けるものとするが、甲の許可なく外部に貸与または公表してはならない。

なお、借り受けた図書・資料等は業務完了後、速やかに返還するものとする。

第7条（疑義）

乙は、本業務の実施にあたって疑義を生じた場合は、速やかに甲に報告し、甲の指示に従い業務を遂行するものとする。

第8条（協議）

甲及び乙は、本業務の実施にあたり、業務の適切な遂行を図るため、その進捗状況に応じて協議を行い、その結果を記録し、相互に確認するものとする。

る。

なお、必要に応じて、関係機関との協議も行うものとする。

第9条（私有地への立ち入り・使用）

本業務の遂行のために私有地へ立ち入る場合や使用する場合は、その所有者等の了解を得るものとする。

乙は、許可なくして不用意に立ち入り、いたずらに紛糾を引き起こすことのないよう特に注意しなければならない。

第10条（照査技術者）

受注者は、本業務における照査技術者を定め発注者に通知するものとする。

第11条（新技術等の活用）

乙は、本業務の実施にあたっては、新技術等の活用の検討を行い、費用の縮減や事業の効率化などに取り組むこと。なお、検討の結果として、施工方法が従来の工法が望ましいとされる場合はこの限りではない。

第12条（照査）

本業務における照査は、設計業務等共通仕様書第1108条（鹿児島県土木部制定）に基づき照査を行うものとする。

第13条（成果品の照査）

本業務における照査については、受注者の責任において確実に実施すべきものとし、確認・修正結果を設計図面、設計計算書及び数量計算書に書き込み、それらを残す等、照査の根拠となる資料を示すことができる照査方法を含むものとする。確認・修正結果は、成果品として提出の必要はないが、成果品納入時の照査報告の際に発注者に提示するものとする。

第14条（工期等の取扱いについて）

工期は、140日間を予定している。

第15条（関係官公庁その他への手続き）

乙は、業務実施にあたって関係機関との協議を必要とする場合には、遅滞なく協議に必要な資料を作成し、協議を行うものとする。

第2章 成果品

第 16 条（電子納品）

- 1 本業務は、電子納品対象業務とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「阿久根市電子納品ガイドライン（令和 4 年 1 月）」（以下「ガイドライン」という。）に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。

【阿久根市ウェブサイト】

ホーム > 市政情報 > 施策・計画 > 土木・建築・交通 > 電子納品

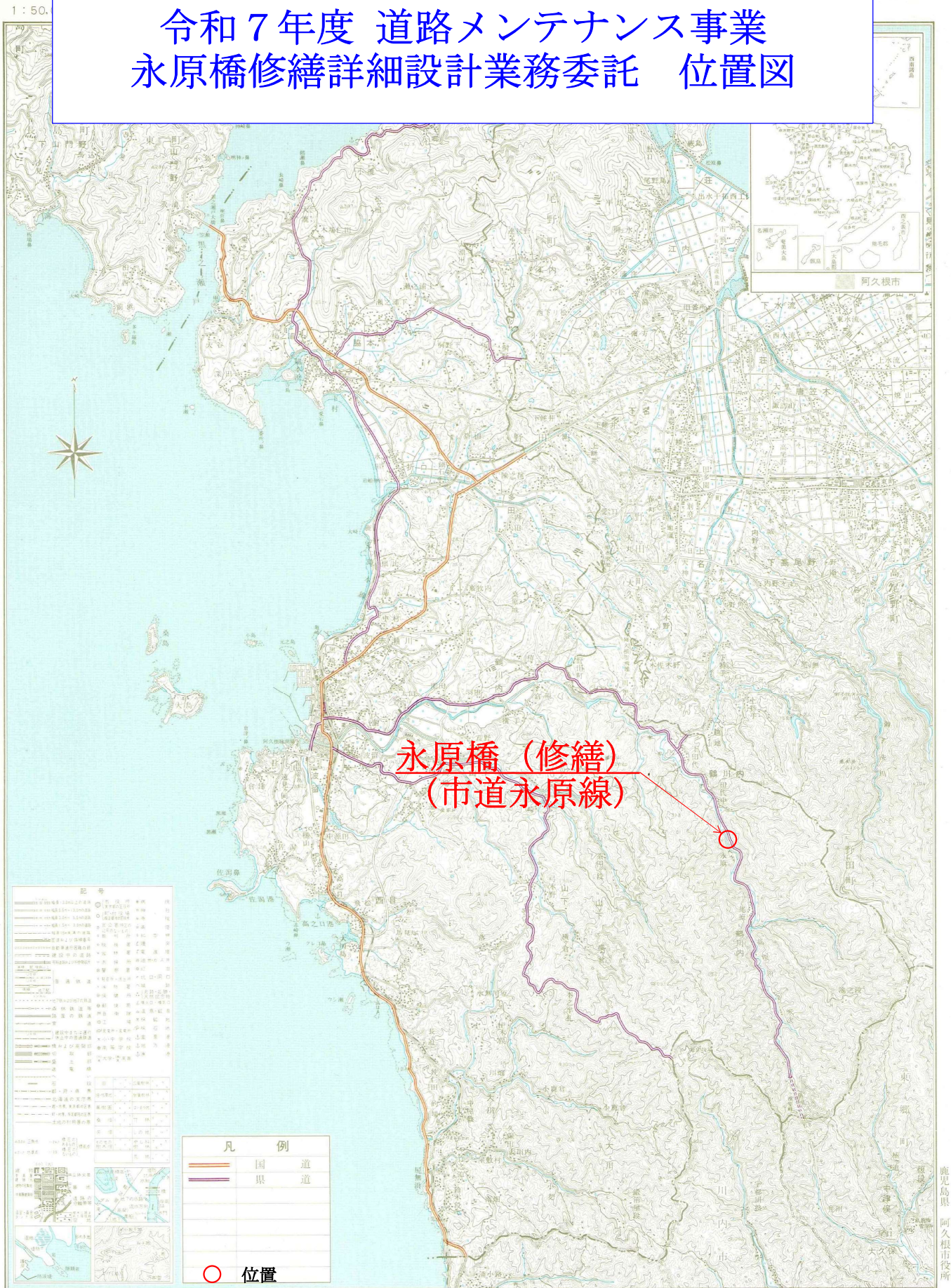
- 2 ガイドラインに基づき作成した電子成果品は、電子媒体で正本・副本各 1 部の計 2 部提出する。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定する。

第 17 条（成果品の提出）

本業務の成果品は、下記のとおりとする。

- (1) 成果報告書（A 4 版） 1 部
- (2) 縮小版（見開き A 3 版） 1 部
- (3) 電子データ（報告書・図面等）C D or D V D 2 部
図面等のデータは S F C 形式とする
- (4) その他監督員が指示するもの

令和7年度 道路メンテナンス事業
永原橋修繕詳細設計業務委託 位置図



橋 梁 名		永原橋										橋 梁 現 況 台 帳										橋梁番号		1028	
道路種別	3	路線番号	2159		路線名	永原線					図面番号	1		地上写真	起・終点→終・起点										
河川等名称	高松川					所在地	自 阿久根市 鶴川内字坪地段6897-1 至																		
橋梁種別	橋		橋 梁 類	路面位置		上 部 工					下 部 工 基 礎														
最大支間長	11.70		1 上路橋		10 床版橋	3 PC橋	2 コンクリート系		1 直接基礎																
径間数	2		適用示書類	S.42		橋 格	1		橋 長	自 地 域	他 地 域	合 計													
現 況	3	通行制限	有 無 *		荷重制限	t		橋 長	23.40	m	m	23.40													
	車 道		自・歩道		路 肩		道 路 部		そ の 他		合 計														
舗装種別	C																								
幅 員	3.56		m		50		m		4.06		m														
面 積	83.30		m ²		11.70		m ²		95.00		m ²														
架設年月日	S.46年 月 日		塗装年月日																						
設計荷重	t 20		付 属 物				排水施設																		
橋 燈	蛍光	水銀	白熱	その他	W 数	W		調査年月日	H. 5年 3月31日																
側 面 図																									
横 断 図																									
地上写真														左・右側面											
備考																									

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	31° 59′ 57.70″	橋梁ID
				経度	130° 16′ 35.00″	
永原橋 (フリガナ) ナガハラバシ	市道 永原線	阿久根市 鶴川内字坪地段6897-1				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
阿久根市	2023.10.13	二級河川 高松川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)					定期点検者	新和技術コンサルタント 新屋 保	
定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	変形・欠損	写真1			
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅲ	洗堀	写真2			
支承部		Ⅱ	変色・劣化	写真3			
その他		Ⅱ	腐食,防食機能の劣化	写真4			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅲ	橋台の洗堀と防護柵の腐食が進んでおり、評価をⅢとした。洗堀は高さ深さともに60cmほど生じており、根継ぎや根固めを行うことが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1971	23.4	4.8
橋梁形式		
PC床版橋		

道路上で起点側より撮影



起点



終点

道路上で終点側より撮影



※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

主桁【判定区分：Ⅱ】	下部構造【判定区分：Ⅲ】
写真01  P1-A2(下流) 主桁14-02	写真02  A1 橋台 下部構造01-01
支承部【判定区分：Ⅱ】	その他【判定区分：Ⅱ】
写真03  A1橋台(上流) 支承本体0101-01	写真04  上流側 防護柵01-01